

■島津重豪 大名。藩政を近代化して隠居，豪華な生活で財政破綻し再登板，弾圧を経て，調所広郷抜擢し財政改革。

しまづしげひで

徳川吉宗隠居1745＝ 鹿兒島城下で加治木領主島津久徳の長男に生まれる。誕生直後に母が死去。

・・・・・・・・1749＝ 4歳：家を継ぎ，

徳川吉宗没・1751＝ 6歳：

山脇東洋解剖1754＝ 9歳：父に連れられ出府，薩摩藩主島津重年の世子となり，

自然真菅道・1755＝10歳：養父が死去して襲封。祖父の後見を受け，

宝暦事件・1758＝13歳：初めて江戸城に登って将軍にお目見え，

大岡忠光没・1760＝15歳：

・・・・・・・・1761＝16歳：初めて入部，

・・・・・・・・1762＝17歳：結婚，以後毎年江戸と鹿兒島を往復し，

・・・・・・・・1763＝18歳：*藩政改革に乗り出す。

学問を好み，中国語・オランダ語をこなし，「南山俗語考」を著わす。藩政においては積極的な財政政策をとり，殖産興業政策をすすめ，佐藤信淵をまねいた。シーボルトを江戸に迎え，ヨーロッパ文明への関心を高め，その輸入に努める。

・・・・・・・・1769＝24歳：夫人が死去して，

・・・・・・・・1770＝25歳：再婚。

1771＝26歳：早くも，長崎でカピタンに接し，

田沼意次老中1772＝27歳：

大原騷動・1773＝28歳：藩校造士館，演武館，

解体新書・1774＝29歳：医学院を整備，財政逼迫で倹約令を出す。

黄表紙始・1775＝30歳：後妻も死去，

雨月物語刊・1776＝31歳：娘の茂子が11代将軍徳川家斉の室となり，将軍の義父となった。

源内獄中死・1779＝34歳：明時館(天文館)を建て，暦学の研究をすすめ薩摩暦を作らせ，再び倹約令を出す。

・・・・・・・・1781＝36歳：

田沼意次失脚1786＝41歳：

寛政改革始・1787＝42歳：*家督を子の斉宣に譲って隠居したが，引き続き藩政の後見，

初の横綱・1789＝44歳：茂姫が家斉の室となると，

異学の禁・1790＝45歳：

混浴禁止・1791＝46歳：後見を止め，

松平定信引退1793＝48歳：

江戸藩邸で豪華な生活をするようになり，これに先代からの巨額の負債や天災の続出などが重なって藩財政が危機に陥る。

蝦夷地直轄始1799＝54歳：

フェートン号事件 1808＝63歳：家老樺山主税らが藩政改革に着手するや，

浮世風呂・1809＝64歳：*再び後見となって，これを弾圧，主謀者を切腹させるなど115人の大量の処罰者をだし，〈近思録くずれ〉とよばれた。この事件で藩主は孫の斉興に替ったが，重豪は引き続き藩政の実権をにぎる。

・・・・・・・・1810＝65歳：自ら「南山俗語考」を著述して出版するなど，学問への関心も衰えず，

杉田玄白没・1817＝72歳：

水野忠成老中1818＝73歳：

シーボルト来日・1823＝78歳：

・・・・・・・・1826＝81歳：商館長に従って参府したシーボルトを江戸藩邸に招くなど，ヨーロッパへの関心を持ち続け，

日本外史・1827＝82歳：調所広郷を起用して5百万両におよぶ借財を解消するため財政改革を始めて，

富籤流行・1830＝85歳：「島名便覧」を出版。

天保大飢饉始1833＝88歳：没した。

吉川弘文館人物叢書，「人づくり風土記(鹿兒島)」，「この人どんな人」，「没年日本史人物事典」，平凡社百科事典，「江戸大名データファイル127人」，